

日 時	平成19年8月16日(木) 午後2時00分～3時30分			
場 所	檀紙地区コミュニティセンター			
出席者 (市)	市長	市民政策部長	総務部長	財務部次長
	健康福祉部長	病院部長	環境部長	産業部長
	都市整備部参事	消防局次長	水道局次長	教育部長
	文化部長			
	事務局 7人			
市 民	65名			
概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 市長あいさつ 3 資料等説明 4 意見交換 			
意見交換 市民	<ol style="list-style-type: none"> 1 地球温暖化問題について 高松市版京都議定書を作り、それを条例化して、市民がどれだけ協力できるか、資料を作って説明してもらいたい。 2 台風とか水害時の避難場所の問題について 檀紙地区は檀紙小学校の体育館となっているが、3年前に水害があったとき、隣の川が氾濫して、檀紙小学校にたどり着けなかった。 市として、今後、どうする考えか。 			
市長	<ol style="list-style-type: none"> 1 地球温暖化の問題は、地球全体の問題であるが、非常に私たちに直接利害を及ぼす身近な問題、環境問題であると思う。京都議定書のようなものは高松市自身で作ることは難しいが、温暖化に関する事実環境をきちっと環境教育などで子どもたちに教えていく、住民の皆さんに知っていただく、併せて、身近にできることから始める温暖化対策ということで、市役所では、クールビズ、冷房温度を28度、暖房温度を19度というように出来るだけ電力消費を抑えるといったところから少しずつ取り組んでいる。条例化は難しいが、環境教育、市民の皆さまに環境に配慮したライフスタイル、生活習慣の実践をお願いしていくという啓発活動に努力していく。 また、環境という面で、水環境と高松市がどう付き合っていけばいいのかを有識者を含めた水環境会議というようなものを作って考えていきたい。そこでの議論の中で、地球温暖化問題をどうやっていくかも議論が広がっていくかと考えている。 2 災害には、地震、洪水等いろいろあり対応も違って来るが、基本的に洪水等を想定したハザードマップの策定を本年度やっており、ある程度の被害予想地区や広域避難場所を市民の方にあらかじめ知っておいてもらうようにする。 広域避難場所へ行くまでの一時避難場所、緊急避難場所について、地域の皆さま 			

	<p>まの意見を聞かせていただきながら，避難場所の見直しを進めていきたい。</p>
市民	<p>公共事業の施行について，市の財源が 19 年度から 21 年度の 3 年間で約 140 億円強不足する中で，公共事業に対する取り組み方，節減の仕方が，民間に比べ，県にしても市にしても 10 年～15 年ほど遅れていると思うが，どう考えているか。</p>
市長	<p>高松市の財政状況も非常に厳しい状況ではあるが，高松市の場合は，企業，人口が集中していることから，税収自体は他市に比べればたくさんある。一般財源の中の税収の占める割合を示す財政力指数は 0.8 を超えており，全国の市の平均が 0.5 程度であることと比べると，体力はあると言える。</p> <p>ただし，借入金の残高が平成 18 年度末で，約 1,520 億円，一般会計の予算規模が約 1,350 億円であり，一般会計の予算規模を大きく超える借入金残高といえる。これをいかに返していくのか，その償還費が財政を圧迫する要因になっているので，これをコントロールしながら借金残高を減らしていかなければならない。</p> <p>これが一番大きな課題と思っている。</p> <p>最近事業等をかなり抑制してきたことで，新たな借入金を少なくしており，平成 17 年度に比べ 100 億円ほど残高が減っている。これをある程度続ければ，安定的な財政にもっていけるのではないか。</p> <p>ただ，3 年間で 140 億円の不足ということもあり，単年度単年度の財源対策もきちっとやっていかなければならない。そのためにも，人件費の削減，職員定数の削減等をやっけていき，単年度単年度の経費の節減とあわせて，借入金残高を少なくするというで財政の健全化を図っていく。さらに，プライマリーバランスの黒字化を継続していくことで，少しずつ健全財政に持っていく。</p>
市民	<p>中部地域のまちづくりの方向の中で，下水道，合併処理浄化槽などの生活排水施設の整備を推進するとなっているが，川岡地区ではいつごろになるか。</p>
市長	<p>下水道，合併処理浄化槽については，マニフェストでも合併処理浄化槽等の手法もあわせて，全市域で下水道を整備するとしているので，財政状況は厳しいが，下水道は基盤整備の一番重要なものということで，合併処理浄化槽とあわせて，鋭意取り組んでいく。</p>
関係部参事	<p>下水道事業は，基本的には線引き廃止前の市街化区域内を下水道処理区域として都市計画決定して，実施している。それ以外の区域は，合併処理浄化槽ということで実施しており，川岡地区も同様である。</p>
市民	<p>集落排水をやるうとした場合に市は認可する用意はあるのか，今，言わないのは財源的に，もう無理だということか。</p> <p>集落が固まれば，下水管へ流し込める。部分的にはそういったことを聞いた記憶があるが。</p>
市長	<p>合併地区で一部実施しているが，市全体としては，これまで取り組んで来ていな</p>

<p>関係部参事</p>	<p>い事業である。</p> <p>今まで連たんしていなかった集落が，ある程度連たんして，うまく面的にまとめて集落排水ができるような所があるんじゃないかと思うので，それを含めて鋭意検討したい。</p> <p>農業集落排水ということだが，制度上はあるが，市では，下水道整備計画の整備区域の見直しを行っているところであり，整備区域を検討をする中で，公共下水道，合併処理浄化槽，農業集落排水を行った場合等について，経済的な比較・試算の上で整備区域を検討していく。</p> <p>今のところは，下水道整備区域以外は合併処理浄化槽で対応している。</p>
<p>市民</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 合併処理浄化槽の補助率が下がっているようだが，今より悪くならないように配慮して欲しい。 2 農地・水・環境保全向上対策事業というのがあると思うが，本年度，市の取組があるのか，また，総合計画の中にどのような形で取り入れているのか。
<p>市長</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 国の補助事業であり，補助枠の問題でなかなか採択にならないということや補助率も変わっていくということもあるようである。 <p>全市域下水道化ということで進めて行くということから，公共下水道を引いた所と合併浄化槽を設置した所とで，大きな自己負担の差が出ないような補助体系にしていきたい。</p> <p>一つの制度で，合併処理浄化槽を市町村が設置して，料金で受益者から徴収するという制度もある。それがすぐに出来るかどうか分からないが，それも含めて，市域全体を面的に下水道の整備をしていくという考え方でやっていきたい。</p>
<p>関係部長</p>	<ol style="list-style-type: none"> 2 本年度からの国の補助事業であり，農用水路とか，農道の保全などについて，地域で共同活動に取り組むことについて助成するというところで，国・県・市で一緒になって補助していくことになっている。対象地域は，農振農用地区域ということになっており，檀紙・川岡地区は対象になる。市では，土地改良区を中心とした地域の活動組織に話しを進めており，当該活動組織が事業をした場合に補助することになる。
<p>市民</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 川岡の場合，奈良須池や小田池があるが，地震で決壊した場合に，どういう方向へ，どういう速さで水が広がって行くか，というようなことを，ハザードマップに反映して欲しい。 2 公的避難場所である小学校とかコミュニティセンターの耐震性を，地域に教えて欲しい。 3 川鵜が多く発生しているが，駆除してもらえるのか。
<p>市長</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 ため池の地震被害についての予想は難しく地図に落とすことはできない。 <p>ただ，ため池自身の調査では，弱いところ，流れやすいところ等は分かるかも知れないので，ため池保全等の対策で研究はしてみたい。</p>

	<p>2 小中学校の体育館が避難場所になっているが、耐震化になっているかという質問であるが、耐震調査はやってきており、対策をしているのが半分くらいである。来年度から県が耐震化の助成を検討していくということであり、市の財政事情もあるので、県の助成もみながら、一遍に全部ということにはいかないが、必要な最低限の補強、改修等を全部やっていく。</p> <p>3 全国的に川鵜が大量に発生して被害が出ているようである。どんな対応が出来るのか、検討していきたい。また、詳しい話しを聞かせていただきたい。</p>
関係部長	<p>2 コミュニティセンター16箇所の耐震診断等が必要ということで、17年度から耐震診断を始めている。川岡のコミュニティセンターについては19年度に診断をして、必要なら、補強をしていく。</p>
関係部長	<p>2 避難所に指定している、川岡・檀紙・円座小学校の体育館は耐震性があるということで、補強の必要は無い。</p>
関係部長	<p>3 現在、駆除について助成をしているのは、川鵜が魚を食べことで、漁業に影響が出ている庵治の方だけである。また、本年度中をかけて、県の方で生息状況、駆除のあり方の調査をすることになっており、それを踏まえて対策をとっていきたい。</p>
市民	<p>農業は厳しい状況である。我々の地域でも、耕作放棄地や荒地が多くなり、後継者もなく、農家はどうなっていくだろうと思っている。市として、どういう考えか。</p>
市長	<p>本市の場合は、兼業農家が多く、そういう中で農地をどう守っていくのか、農業をいかに継続してもらえるのか、兼業でありながら、農業を守り続けていくにはどういう対策が必要なのか、いろんな意見を聞きながら、高松市にあった農業政策を進めたい。</p>
市民	<p>南消防署の移転はいつか。</p>
市長	<p>南消防署は、老朽化と狭隘であることから、太田地区で移転改築するということで進めている。消防署を主体とした公共施設ということで、本年度基本設計と実施設計をし、来年度以降建設にかかっていく。また、建設にあわせて、消防署所の見直しをしていくこととしている。</p>
市民	<p>円座地区には、ちょっと子どもを遊ばせる公園がないので作って欲しい。</p>
市長	<p>各地区の対話集会で回って、近くに公園が無いという声が多い。栗林公園や玉藻公園といった大きな公園を除けば、手軽な公園は少ないと感じている。公園というのは、地域のいろんな集まりや、災害時の一時避難場所としての公共空間として、また、子育てで子どもを遊ばせる場所、親同志が交流する場所</p>

	<p>あたりというように、非常に有用な公共施設であると思っている。</p> <p>ただ、土地が必要であり、それなりの予算が必要である。</p> <p>出来るだけ優先順位の高いような地域において、他都市の状況も勘案しながら、整備が出来ないかと思っており、そういう方向付けも基本構想に盛り込んでいけたらと思っている。</p>
関係部参事	<p>公園整備について一番問題なのは用地の確保である。</p> <p>比較的容易に対応出来るのは、農地、遊休地を活用してのちびっ子広場としての整備事業。用地の協力が得られるようであれば、公園緑地課へ連絡をお願いしたい。</p>
市民	<ol style="list-style-type: none"> 1 ちびっ子広場について、市は積極的に取組んで欲しい。 2 老人のスポーツ活動の場についても、ちびっ子広場の発想で、地域の土地所有者の協力を得て、随所に作って欲しい。
市長	<p>公共事業として、土地を全面的に買って整備をしていくというのは財政的にも大変なので、ちびっ子広場のよう、地元で土地を提供していただいて、簡易な整備をして、多目的な使用ができる公園を整備するという手法を市は持っているの、地域でまとまっていたいただければ、市としても話しに乗っていきたい。</p>
市民	<ol style="list-style-type: none"> 1 檀紙はこの辺りで一番僻地であり、公共交通機関がひとつもない。ショッピングバスや 100 円バスを回してもらいたい。 2 新しい家がどんどん建ってきているが、自治会に入っていない 3 地区内には、公衆便所が一つも無いので、作って欲しい。 子どもが店に寄って、便所を貸してくれと言われて困っている。
市長	<ol style="list-style-type: none"> 1 公共交通は重要だと思っている。 これからは、道路を作るより、公共交通を充実させていこうという発想の転換をしてまちづくりしていこうと思っている。 30 年か 50 年後に市の公共交通はこうなったらいいなあという絵を描いてみたいと思っている。 その上で、とりあえず路線バス等の利便性の向上のためにはこれくらいの助成をやりましょうということで、少しでも公共交通が便利になればと考えている。 2 転勤が多い都市でありながら自治会加入率が 70%を超えているのは素晴らしいことだと思っているが、マンション建設が多いところなどは、加入率が 50%をきっているような所もある。マンション管理業者に自治会加入を推進するような責務を課せないかなどいろんな対策を考えていきたい。 3 公共トイレを計画的に整備するのは難しいと思う。何もなくて大変だというようなことがあれば考えなくもないが、公共トイレを単独で全市域に作っていくのは難しい。
市民	<p>ここのセンターのトイレが一階も二階も男女共同である。改善してもらいたい。</p>

市長	何らかの対応が出来るよう，早急に検討させてもらう。
関係部長	地域の方で，1階は男性，2階は女性というように使い方を工夫していただければということも提案させていただきたい。